

1. はじめに

12月に突入し、2014年の締めくくりの時期となりました。12月のTerre Hauteは11月ほどの冷え込みはありませんが、葉がなくなった木々の隙間から見える、澄み切った空に冬を感じます。また、大学内や近隣住宅にクリスマスの装飾が見られるようになりました。寮内でも、部屋のデコレーションのコンテストが行われており、各々の工夫を凝らした飾りつけが見られます。今月の報告書では、11月のThanksgiving休暇を中心に報告します。図1に休暇中に訪れた、シカゴの風景を示します。



図1 シカゴの街並み

2. Thanksgiving休暇について

11月のThanksgiving休暇には、私の友人の実家にお邪魔させていただきました。Thanksgiving Dayはアメリカでは11月の第4木曜日とされています。もともとはイギリスからアメリカ大陸へ移住してきたピルグリム・ファーザーズが、食料もなく厳しい冬に困り果てていたところを、インディアンの人々に農作物の作り方を教えてもらい、冬を乗り越えることができたことがきっかけです。ピルグリム・ファーザーズはインディアンたちに感謝し、初めての収穫を祝う食事会を開きました。この食事会がThanksgivingの始まりとされています。このような歴史的背景からThanksgivingの日には家族や親戚が大勢集い、食事を楽しみます。友人の家でも、たくさんの親戚が集まり、食事を持ち寄って豪華な夕食をみんなで楽しみました。伝統的な料理である、七面鳥やグレービーソース、クランベリーソースなど種類豊富なソースがありました。また、マッシュドポテトやパンプキンパイも食卓に並び、知識として知ってはいましたが、こうして実際に食べることができ、うれしく思います。Green stuffと呼ばれるデザートも一緒に作る体験ができました。図2にThanksgiving Dinnerの様子を示します。



図2 Thanksgiving Dinner

また、友人宅ではMacy'sのパレードをテレビで見て楽しみました。Macy'sはアメリカの有名百貨店でThanksgivingの時期にMacy's Thanksgiving Day Paradeと呼ばれるパレードを開催しているそうです。様々なキャラクターの大きなバルーンが行進し、中には日本人になじみの深いキャラクターの姿もありました。他にもマーチングバンドや歌手のパフォーマンスを見ることができました。

Thanksgivingの翌日は、Black Fridayと呼ばれます。これは、thanksgivingのプレゼントの在庫セールとクリスマス商戦が始まる日であるため、多くの店の売上げが黒字になることに由来しています。日本で言う、お正月の初売り商戦に似ており、たくさんの方が開店時間より前に列を作りショッピングをしていました。最近では、Black Fridayの次の月曜日をCyber Mondayと呼び、ネットショッピングが盛んに行われているそうです。

シカゴ観光では、フィールド自然史博物館やシュッド水族館、アドラープラネタリウムと天文学博物館、科学産業博物館に行きました。どの施設も展示物の撮影が可能で、模型等にも触ることができました。特にフィールド自然史博物館は日本の博物館にはない大きさで、見て回るのに一苦労でした。展示物も興味深いものが多く、例えば剥製ひとつとってもただ並べるだけでなく、その生物の生育環境を再現したり、骨格との比較をみることができたりと大変勉強になりました。また、生物学の中でも比較的新しい分野であるバイオメティクス・バイオメカニクスの展示があり、生物を模倣した、最新の科学技術の知識を得ることができました。図3・4にフィールド自然史博物館の様子を示します。



図3 フィールド自然史博物館 1



図4 フィールド自然史博物館 2

3. 科目の履修

早くも冬学期に入り、新しい科目の履修が始まりました。私は、Comp Anatomy & Physiology (解剖学と生理学) と College English と Japanese Society の3科目を履修し、Evolutionary Biology (進化生物学) を聴講しています。以下に科目ごとの詳細を示します。

Comp Anatomy & Physiology

この科目は、基礎的な解剖学と生理学の知識を身につけます。私は、解剖学や生理学の知識がほとんどないので毎日の授業がとても新鮮です。単語も一つ一つが特殊で、暗記に苦労しています。先日の実験・演習ではDog fishと呼ばれる、サメの解剖をしました。実際に手で触れて、内臓の各器官の学習をすることができました。

前学期のCell structure and Functionの講義と同様に、非常にアットホームな雰囲気での学習す

ることができています。教授は生物が大好きで、オフィスに蛇を飼っています。質問をするためにオフィスに訪れると蛇を見せてくださり、とても気さくな方なので生徒たちも積極的に学んでいます。

College English

専門科目だけでは、Speaking や Listening の力を伸ばすことは難しいので、語学系の科目として履修しています。前学期よりも受講している生徒数が少なくなりましたので、より生徒ごとに合わせたレベルで学習を進めています。Conversation Group にも積極的に参加し、Speaking の力を伸ばそうと努力しています。最近では、パソコンを用いて発音を練習するソフトで学習しています。専用のヘッドセットを利用し、お手本を聞いてから自分の発音を録音するため、日本人には難しい発音もしっかり練習することができます。自分では発音できていると思っても、発音の甘い箇所が発見でき、大変勉強になります。

Japanese Society

日本社会をこちらの学校ではどのように捉え、学習しているのかに興味を持ったため履修しました。ディスカッションが中心で、教科書を読んだ感想や題材とした邦画を見た感想・意見を自由に言い合います。日本にいる際には当たり前感じていたことでも、外国の視点で見ると新たな一面を発見できます。例えば、New York Times のある記事では、日本人は CD をよく買うために、ダウンロード文化がなかなか根付かないことに着目しています。様々な市場環境の中で、音楽産業が大きな変化を強いられる中、日本人特有のコレクター癖がこのような状況を生んでいると分析しています¹。CD だけに限らず、日本独特のアニメやマンガの文化も知らず知らずのうちに身についた収集癖によって発展してきたとも考えられます。

このように、日本社会を取り巻く様々なトピックスについて学習し、日本にいるだけでは培うことができない視点で物事を捉えられるようにしていきたいと思います。

Evolutionary Biology (進化生物学)

この科目は、1・2年次の科目が履修済みであることが義務づけられているので、聴講のみさせていただいています。進化論の歴史や、生物のデザインに及ぼした影響を学んでいます。アメリカはキリスト教徒の人も多く、進化論をなかなか受け入れることができなかった国でもあります。生徒たちがどのように考え、この科目を学んでいるのかを知りたいことを目標に、講義に参加しています。

4. おわりに

私の留学生活も終盤に差し掛かってきました。冬学期の専門科目はより発展的な内容を学習しているので、秋学期以上に頑張りたいです。語学に関しても、生活の中に積極的に会話を取り入れ、こつこつ取り組んでいきます。勉強以外でもアメリカ特有の文化を経験し、楽しむことができます。引き続き、残りの留学生活も有意義な経験になるよう、そして悔いの残らないよう様々なことに挑戦していきます。

¹ CD-Loving Japan Resists Move to Online Music - NYTimes.com

URL(http://www.nytimes.com/2014/09/17/business/media/cd-loving-japan-resists-move-to-digital-music.html?_r=0)